



2020年度 グローバルリーダー養成ワークショップ (Zoomオンライン開催)

- ◆日程： 2020年12月10日(木)、14日(月)、15日(火)、16日(水)
(4日間) 各日とも9:30~15:30(昼休憩1時間を除き5時間)
※従来合宿型で開催してきましたが、今回はZoomによるオンライン型の開催となります。
- ◆対象： グローバルな環境でビジネスを遂行する立場にある
マネジャークラスの方、海外に駐在予定の方

近年、VUCA (V変動性、U不確実性、C複雑性、A曖昧性) の高まりによってグローバルビジネスの環境変化が急速に進んできましたが、今春来の新型コロナウイルス感染症拡大という新たな状況が加わって、変化の大きさとスピードに拍車がかかっております。

従来より、グローバルな環境で業務を遂行するビジネスパーソンには、①未来を戦略的に洞察し現在の行動と未来を結び付ける力、②外部環境の変化に機敏に対応できる柔軟性、③これまで以上に迅速に意思決定し実行する能力、④素早く新しいことを学ぶラーニングアジリティ、⑤離れた場所で勤務しているチームメイトとの効果的な協働力、⑥勤務状況/環境が異なる相手に対する共感力、⑦異なる背景や価値観の人材を率いるグローバルリーダーシップなどが求められていましたが、現下の環境では、特に、協働力、共感力、グローバルリーダーシップが、必須の基礎力としてますます重要性が高まっています。

本ワークショップにおいて、参加者はオンライン環境下で行うビジネスを英語を用いて疑似体験しながら、上記のビジネス基礎力を学びます。具体的には、架空の米国企業が日本に進出してビジネスを展開することを想定し、そのうえで課題となるマーケット戦略の策定や、組織・人材マネジメントの実践などを、アクションラーニングを用いて体験します。

インターバルを挟む、4日間(各5時間)のオンラインツールを活用したインタラクティブセッションやグループワークを通し、様々なアイデアや気づきを得ます。また、セッションに必要な知識や情報をプレワークで学び、受講者同士のみで行うファイナルプレゼンテーションの準備を4日間のうち1日を使って行います。セッション最終日には、米国本社のエグゼクティブにプレゼンテーションをするという設定でビジネス提案を行います。

講師は、米国を中心に多くのグローバル企業でグローバルリーダー育成に従事している、Dr. Don Gilmanが担当します。

※写真は昨年度の合宿研修風景



一般社団法人 経団連事業サービス
協力：クインテグラル株式会社 (AMA)

目的

- 国内や社内だけでなく、国外や社外にも目を向け、視野を広げる。
- 異なる文化を理解し、バーチャルな環境下において相手と信頼関係を築くためのノウハウを学ぶ。
- 変化を避けるのではなく、率先してリードする必要性とその方法を学ぶ。
- 日本と海外におけるマネジメントスタイルの違いを理解し、有効な対処方法を見出す。
- グローバルなビジネス環境において、“発信”することの重要性を認識する。
- アイデアを相手に納得させるためのプレゼン力を向上させる。
- 異業種の参加者と様々な意見を共有し、新たな気づきを見出す。

アウトライン

	内 容
プレワーク (事前課題)	<p><Reading> セッションの準備として、パンデミック後の環境で必要とされる重要なグローバル・リーダーシップ・スキルに関連する記事を読んでいただきます。 ※記事は、電子形式および/またはオンライン版へのリンクが提供されます。</p> <p><Research> 参加者は、自社のビジネスに影響を与える重要なトピックやトレンドを調査します。 ※別途インストラクションをお送りします。</p>
イントロダクション	<p>本ワークショップの目的と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ バーチャル環境におけるグローバルリーダーシップのコアスキル ➢ ワークショップの構成とファイナルプレゼンテーションの概要 ➢ [ディスカッション]急速に変化する環境と、それがグローバルリーダーにとって何を意味するのかについて
モジュール1	<p>英語でのバーチャルコミュニケーションスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ バーチャルビジネスカンパセーションの基本(既存の表現、新しい表現) ➢ バーチャル環境で誤解されないようにするためにアサーティブな対応をする:バーバルとノンバーバルメッセージ(ボイカル、ビジュアル) ➢ オンラインで効果的なブレインストーミングを行う ➢ スモールトーク - 受け入れられる話題と受け入れられない話題
モジュール2	<p>バーチャル環境における効果的なマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ マネジメントスタイルを知る。 ➢ モチベーションと影響力、行動スタイル ➢ コンフリクトマネジメント ➢ 成長を促す権限委譲
ホームワーク	<p><Reading> 異文化チームを率いるうえでの違いや、特に COVID-19 の影響で進んだバーチャルワーク環境において、変革への取り組みをリードに関連した記事やリサーチを読む。 <グループワーク>本ワークショップにおけるアクションラーニングの構成要素であるチームプレゼンテーションの準備のために、共同作業を開始し、学んだことを代表的なビジネス課題に応用する。</p>
モジュール3	<p>バーチャルチームと異文化チームをリードする</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ バーチャルチームをリードする ➢ 異文化チームをリードする ➢ 異文化体験演習(異文化体験とシミュレーション)

モジュール4	変化をリードする <ul style="list-style-type: none"> ➤ チェンジマネジメントとは ➤ 変化に対する反発に対応する ➤ グローバルに分散したチームで率先して変化をリードする
モジュール5	バーチャルおよび対面でのプレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> ➤ バーチャル環境でのビジネスプレゼンテーションスキル
ホームワーク	最終日のファイナルプレゼンテーション準備を、チームで行う
モジュール6	アクションラーニングと、ファイナルプレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> ➤ アクションラーニングとプレゼンテーションワーク ➤ ファイナルプレゼンテーション
モジュール7	アクションプランニングとラップアップ <ul style="list-style-type: none"> ➤ 継続的な学習と改善のためのアクションプラン作成 ➤ ラップアップ

※このコースには架空企業のウェブサイト(英語)を読んできていただく事前課題があります。

WHAT IS ACTION LEARNING?

アクションラーニングとは、実際の問題を取り上げ、その解決策について検討・立案していくビジネスシミュレーション方式の学習法です。アクションラーニングでは最適な解決策を考えることも重要ですが、むしろ解決策を立案していくまでの過程が重要で、様々な検証や他者との議論を通じて、発想の転換や気づきを生み出します。本プログラムでは知識の習得を行った後に、架空の会社のケースを用いたアクションラーニングを通して、実践力向上を図ります。

■本ワークショップは、アメリカンマネジメントアソシエーション(AMA)のプログラムで構成しています。AMAは、1923年に米国で創設されたマネジメント研修の分野で世界を代表する国際教育研修機関です。現在日本では、クインテグラルの社名にて、AMAのサービスを提供しています。

講師

Dr. Donald Gilman (クインテグラル AMA 講師)



【略歴】米国カリフォルニア在住。技術経営の理学修士、組織変革で博士号を取得。General Motors や Robert Bosch GmbH において、専門的な技術指導やマネジメント業務に従事。Robert Bosch ではドイツ勤務を経験。現在はグローバル実務経験を活かし、世界各国でグローバルリーダー育成に注力している。

【Donald Gilman 講師 Web サイト】

<http://www.dongilman.com/>



参加要領

- ◆ 使用言語： 英語 (TOEIC の目安： 650 点以上)
- ◆ 参加費： 一人あたり 132,000 円 (本体 120,000 円 + 消費税 12,000 円)
- ◆ 定員： 30 名 (原則、先着順といたします)

参加者の声

■全体の感想■

- グローバルにビジネスを進める上で必要なチームマネジメント、コミュニケーションのあり方を、日本との違いを踏まえて理解することができる、他に類がない研修だった。
- 英語のみで過ごした経験が少なく不安だったが、グループワーク有り、ケーススタディー有り、内容が充実しており、あつという間の3日間だった。全て英語のプログラムにあまり慣れていない日本人でもついていける丁度よいペースだった。
- 英語の必要性に加え、相手の文化を理解することの重要性をよく理解できた。

■内容について■

- 異文化チームをリードするグローバルな環境でプレゼンする等のスキルだけでなく、日常的に活用できるリーダーシップスキルを習得できた
- 今後の業務（行動スタイルやコミュニケーションスキル、マネジメント、プレゼン等）に役立つことが多かった。
- リーダーシップの考え方のみならず、日本と他国の違いについて文化的背景までを考慮してデザインされた内容だった。
- 参加前はハードルが高いと思っていたが、実際に出来たことで自信になった。

■講師について■

- 講師のクオリティが高く、また教材内容が充実していて満足度の高い研修だった。知識・経験ともに豊富で日本のビジネス、社会に対する見解や指摘は非常にためになった。英語も非常に聞き取りやすかった。
- 非常に明るく前向きで安定感があり、積極的な気持ちを3日間持ち続けながら受講することができた。
- 経験に裏打ちされた説得力がある。まさしくプロフェッショナルなコーチで大変満足です。

※写真は昨年度の合宿研修風景



主な参加企業（2011年度～2019年度）（五十音順：会社名は当時のもの）

曙ブレーキ工業／旭硝子／朝日航洋／梓設計／アフラック生命保険／イオン／伊勢化学工業／ヴィエムウェア／NTT 国際通信／NTTコミュニケーションズ／NTTデータ／大塚製薬／大林組／鹿島建設／キヤノン電子／麒麟ホールディングス／クインテグラル／鴻池運輸／神戸製鋼所／酒井重工業／サッポロビール／山九／JSR／静岡ガス／昭和電工／新菱冷熱工業／スズクホールディングス／住友ゴム工業／住友商事／住友林業／大成建設／大日本住友製薬／大鵬薬品工業／タス／中外製薬／千代田化工建設／TDK／帝国ホテル／東燃ゼネラル石油／東陽／凸版印刷／トピー工業／中日本高速道路／日揮／日本経済団体連合会／日本工営／日本触媒／日本通運／日本バイリーン／日本フェルト／日本メトロニック／バンドー化学／日立コンサルティング／日立ビルシステム／フジタ／HOYA／丸紅／三井住友海上火災保険／三井造船／三菱重工業／三菱商事／三菱製鋼／山田ビジネスコンサルティング

【お申込み・お問合せ先】

経団連事業サービス 研修グループ

E-mail: kensyu@keidanren-jigyoservice.or.jp
TEL: 03-6741-0042 / FAX: 03-6741-0052



送信先

E-mail:kensyu@keidanren-jigyoservice.or.jp

KDR

FAX:03-6741-0052 経団連事業サービス 研修グループ 行

2020年度「グローバルリーダー養成ワークショップ」参加申込書

※英文も記載願います (英文名刺の拡大コピーの添付でも結構です)

会社名			
Company			
参加者氏名			
Name			
所属部署			
Department			
役職名			
Title			
TOEIC 点数	点	<input type="checkbox"/>	未受験 (該当の場合は口をチェックして下さい)
連絡先住所	〒	—	
電話 ()	—	FAX ()	—
E-mail			
メッセージ欄			
ご連絡担当者 ご氏名:	*ご参加者と異なる場合のみご記入ください。		
所属部署:			
電話:	FAX:		
E-mail			

複数のご参加を希望される場合は、1名分毎にご記入ください。

参加申込書受領後、「請求書」をお送り申し上げます。

※キャンセル料: (但し、日数は営業日。土日祭日は日数に含まれない)

・開催日10日前~2日前まで 26,400円(1名様分・税込)

・開催日前日・当日は、参加費の全額を申し受けます(配付資料は後日ご送付)

※お預かりした個人情報は、経団連事業サービスの個人情報保護規程に基づき、安全かつ適正に管理いたします。

※ご記入いただいたメールアドレス宛に、経団連事業サービスより関連するセミナー等のご案内をさせていただきます。ご不要の方は口をチェックをお願いいたします。 ⇒ 案内メール不要